

蛍光ランプ

●ラピッドスタート形蛍光ランプ

FLR	40S	EX-N	/M	/36	P	-H
<p>ランプの種類および形状を示す FLR : 直管形 FCR : 環形</p>	<p>ランプの大きさの区分を表す数値、およびガラス管が細いもの、又は、高出力形などを示す 40 : 定格ランプ電力(40ワット)(節電設計の場合は大きさの区分を表す:40形) S : ガラス管径32mm(ない場合は38mm) H : 高出力形(EH:超高出力形)</p>	<p>光源色、演色性、用途などを示す(3波長形) EX-D : 3波長形昼光色 EX-N : 3波長形昼白色 EX-WW : 3波長形温白色 EX-L : 3波長形電球色(普通形) D : 昼光色、N : 昼白色、W : 白色、WW : 温白色(高演色形、演色AAA) D-EDL : 演色AAA昼光色 N-EDL : 演色AAA昼白色 W-EDL : 演色AAA白色 L-EDL : 演色AAA電球色(高演色形、演色AA) D-SDL : 演色AA昼光色、N-SDL : 演色AA昼白色(その他) EBあるいはB : 青色、BW : 青白色、EGあるいはG : 緑色、PK : 桃色、Y : 黄色、ERe : 赤色、BL、BLB : 紫外線放射タイプ</p>	<p>始動補助に関する構造上の相違を示す /M : ガラス管内面に透明な導電性被膜を施したものの110W形では外面に導電テープを貼付けたもの /A : ガラス管外面に撥水処理(シリコンコーティング)を施したものの /M・A : 外面導電テープタイプ /J : ガラス管外面に金属ストライプを施し、これと器具とを接続することを必要とするもの</p>	<p>ワットプライター(節電設計)の定格ランプ電力を示す(ワット)</p>	<p>用途などを示す P : 飛散しにくいように外面に被膜をつけたもの NU : 紫外線吸収膜付</p>	<p>メロウ5を表す記号</p>

●高周波点灯専用形蛍光ランプ

FHF	32	EX-N	P	-H
<p>ランプの種類および形状を示す FHF : 直管形高周波点灯専用形(Hf蛍光ランプ) FHC : 環形高周波点灯専用形 FHG : 角形高周波点灯専用形 FHW : 二重角形高周波点灯専用形</p>	<p>ランプの大きさの区分を表す数値および定格ランプ電力を示す(ワット)</p>	<p>光源色を示す(3波長形) EDあるいはEX-D : 3波長形昼光色 ENあるいはEX-N : 3波長形昼白色 EWあるいはEX-W : 3波長形白色 EWWあるいはEX-WW : 3波長形温白色 ELあるいはEX-L : 3波長形電球色(高演色形、演色AAA) N-EDL : 演色AAA昼白色 W-EDL : 演色AAA白色 L-EDL : 演色AAA電球色</p>	<p>用途などを示す P : 飛散しにくいように外面に被膜をつけたもの NU : 紫外線吸収膜付</p>	<p>-H : 効率改善形を表す記号 -Z : ネオスリムZを表す記号 -PD : メロウライン PRIDEを表す記号(15000時間) -POLN:ネオスリムZ PRIDEを表す記号(19000時間)</p>

蛍光ランプの適合性一覧表

蛍光ランプと器具の適合性の目安を下表に表わします。正しくは安定器および器具の銘板に指定された種類、ワット数のランプと必ず組み合わせてください。

○ : 適合 × : 不適合 △ : 適合した組合せではありませんので即時点灯はしません

器具の種類	蛍光ランプの種類	スタータ形(FL・FCL)		ラピッドスタート形(FLR)			Hf蛍光ランプ(FHF)
		一般形	ワットプライター(省電力形)	●内面導電性被膜方式(/M)●外面シリコン方式(/A)		外面導電テープ方式(/MA)	
				一般形(/M, /A)	ワットプライター(/M/※, /A/※)		
スタータ形器具	点灯管	○	○	△ ⁽¹⁾	× ⁽²⁾	△ ⁽¹⁾	× ⁽¹⁰⁾
	電子点灯管	○	○	× ⁽³⁾	× ⁽²⁾	× ⁽³⁾	× ⁽¹⁰⁾
	ラピッドスタート器具(一般器具)	× ⁽⁴⁾	× ⁽⁴⁾	○	○	× ⁽⁵⁾	× ⁽¹⁰⁾
調光用器具	連続調光	× ⁽⁶⁾	× ⁽⁶⁾	× ⁽⁷⁾	× ⁽⁸⁾	○	× ⁽¹⁰⁾
	段調光	○	○	○	○	× ⁽⁵⁾	× ⁽¹⁰⁾
	非常灯・誘導灯器具	○	× ⁽⁹⁾	○	× ⁽⁹⁾	× ⁽⁵⁾	× ⁽¹⁰⁾
	Hf用器具	× ⁽¹⁰⁾	× ⁽¹⁰⁾	× ⁽¹⁰⁾	× ⁽¹⁰⁾	× ⁽¹⁰⁾	○

- 省電力でない一般形のラピッドスタート形(例FLR40S/M)は、グロースタータ器具で使用できます。ただし即時点灯しません。
- ラピッドスタート形のワットプライター(例FLR40S/M/36)は、入っているガスの関係でランプ電流が多くなり、器具が過熱する可能性があります。
- 電子点灯管は、スタータ形ランプの電極抵抗に合わせて設計されているので、電極の違うラピッドスタート形では、点灯が不確実になることがあります。
- スタータ形ランプは「始動補助装置」がないので、ラピッドスタート器具で使うと点灯しなかったり、電極部分が早期に黒化し短寿命になります。
- このタイプのランプは内面導電被膜方式と比べて器具の種類や周囲の状況に影響されやすく、点灯が不確実になる場合があります。
- スタータ形は電極が違いますので点灯しても、調光ができなかったり、黒化し短寿命になります。
- ラピッドスタート形の「始動補助装置」の違いで調光できません。連続調光用器具は外面導電テープ方式のランプをご使用ください。
- 銅・鉄の安定器では点灯しないことがあります。但し調光用のインバータを組込んだ器具にはこのランプを使うことになっていますので、器具の仕様書をご確認ください。
- 省電力形のランプのうち、直管20形と環形は使用可能です。省電力形ラピッドスタート形(例FLR40S/M/36)は、器具によって使用可能なものと使用できないものがあります。器具銘板をご確認ください。スタータ形40形(例FL40SS/37)は使用できません。非常時に点灯しない恐れがあります。
- 必ず(Hf)表示のある専用器具で使用してください。それ以外の器具で使用した場合、不点灯、異常放電、短寿命、ちらつきの原因となることがあります。器具によってはオールランプフリータイプ(FHF、FLR、FL)のいずれの蛍光ランプも使用可)もあります。器具の銘板・カタログ・承認図等をご確認ください。